

科目名		担当責任者	
精神看護学概論		矢田浩紀、米元富貴代	
Introduction to Psychiatric and Mental Health Nursing			
標準履修年次	必修選択別	単位数	科目ナンバー
2年・後期	必修	2単位	3D203
授業の概要(ねらい)			
<p>1年次の「医療コミュニケーション論」「メンタルヘルス論」の学修をベースに、2年次の「医療倫理学」「臨床医学論Ⅱ」(精神医学領域)の学修と並行して、精神保健看護学に関する現状と専門的知識を習得する科目です。</p> <p>まず、精神保健と精神障害に関する現状を理解します。次に、人間が持つ精神機能の発達をライフサイクルに沿って捉えた後に、人間にとっての家族とは何かについて学び、家族療法の意味について考え、地域との繋がりについて学びます。また、精神に疾患や障害を持つ人をどのように看護するのかについて理解し、個人ワークやグループワーク学びをさらに深めます。看護学科の4つのディプロマ・ポリシーのうち、人間の総合的な理解、及び人権を擁護する看護の責任と役割、専門職業人として自己をみつめ自主的な学習を継続する姿勢について学ぶことになります。</p> <p>本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は、看護師として臨床において精神看護に携わった臨床経験を活かし、精神障害者の実態に合わせたケアについて解説します。</p>			
授業の到達目標			
<p>【ディプロマ・ポリシーとの関連:①・③・④】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ライフサイクルにおける脳の精神機能と生理機能の発達について述べるができる。 2. 精神疾患を持つ人の家族とその支援について述べるができる。 3. 精神保健活動とリハビリテーションについて述べるができる。 4. 精神医療の現状と課題について列記することができる。 5. 精神に疾患や障害を持つ人々の特徴を理解し、その看護について述べるができる。 			
成績評価の方法および基準			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験 (評価比率:70%) 2. 小テスト (評価比率:10%) 3. 課題レポートとグループワーク (評価比率:20%) <p>*課題レポートについては、事前に配布するルーブリックで評価します。 *小テストや課題レポートに対し、講義の中で解説等のフィードバックを行います。</p>			
教科書		参考書	
<p>ナーシンググラフィカ 精神看護学① 情緒発達と看護の基本 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践 メディカ出版 オレムのセルフケアモデル事例を用いた看護過程の展開 宇佐美しおり ニューヴェルヒロカワ これからの精神看護学 森千鶴ほか編集 ピラールプレス</p>		<p>オレム看護論 看護における基本概念 ドロセア E. オレム 医学書院 精神医学入門 Psychiatry 朝田隆監訳 医学書院 精神科看護白書 日本精神科看護技術協会 患者理解への看護の視点 日本看護協会</p>	
準備学修(予習・復習等)の具体的な内容およびそれに必要な時間			
<p>【事前学修】 ・シラバスをよく読み、事前に授業内容を示してある内容について読んでおくこと。 ・指定された教科書のページは必ず読み、わからない部分はまとめておくこと。</p> <p>【事後学修】 ・授業の配布資料はファイリングすること。 ・ノートを作成して授業の内容を自分で理解できるようにまとめておくこと。</p> <p>【必要時間】 ・当該期間に30時間以上の予習・復習が必要です。</p>			
その他履修上の注意事項			
<p>現代の精神科医療の特徴と課題についてグループワークを行います。グループワークではお互いに意見を交わしながらまとめてください。 この科目とディプロマ・ポリシーとの関連をカリキュラム・マップを参照し、理解すること。</p>			

回数	担当者	授業内容
1	矢田浩紀 米元富貴代	ガイダンス 1.精神障害についての基本的な考え方 1)障害のとらえ方 2)社会変化とメンタルヘルス 3)精神障害は生じるきっかけとプロセス 4)対象理解の難しさ 5)精神障害とともに生きるということ
2	矢田浩紀 米元富貴代	2.ライフサイクルにおける精神機能の発達 1)人格の発達と情緒体験 2)人生各期の発達課題
3	矢田浩紀 米元富貴代	3.家族とその支援 1)家族とは何か 2)家族をみる視点 3)家族の課題 4)精神疾患と家族
4	矢田浩紀 米元富貴代	4.嗜癖と依存 1)依存のとらえ方 2)アルコール依存症 3)逸脱行動と烙印 4)アルコール依存症の看護
5	矢田浩紀 米元富貴代	5.精神医療・看護の倫理と人権擁護
6	矢田浩紀 米元富貴代	6.精神医療の歴史と看護
7	矢田浩紀 米元富貴代	7.精神保健医療福祉をめぐる法律
8	矢田浩紀 米元富貴代	8.現代の精神科医療の特徴と課題(グループワーク)
9	矢田浩紀 米元富貴代	9.統合失調症の人の理解とケア
10	矢田浩紀 米元富貴代	10.うつ病の人の理解とケア ※精神障害者の現状と家族を含めたケアの実際等
11	矢田浩紀 米元富貴代	11.精神科看護における対象の理解 1)アセスメントの視点 2)治療の場の人間関係 12.精神科看護におけるケアの方法 1)「治療的関わり」の考え方
12	矢田浩紀 米元富貴代	13.セルフケア理論と看護 1)オレムのセルフケア理論
13	矢田浩紀 米元富貴代	14.入院環境と治療的アプローチ 1)治療の場としての精神科病棟 2)治療的環境を整える
14	矢田浩紀 米元富貴代	15.精神保健活動とリハビリテーション 1)精神科リハビリテーションの考え方 2)ストレングスマデル
15	矢田浩紀 米元富貴代	16.救急医療現場における患者支援と精神的関わり